

平成25年7月山口島根豪雨災害の 状況と現状

■ 下 森 博 之* ■

1. はじめに

津和野町は、「日本の原風景」と称されるように、西中国山地国定公園にブナの天然林を誇る安蔵寺山や秀峰青野山、水質ランキング連続日本一に輝く一級河川高津川など豊かな自然に囲まれております。また、700年を超える歴史の中で城下町に多様な文化が醸成され、掘割に鯉の泳ぐ殿町通りや古い商家や民家が立ち並ぶ本町通りの佇まいは豊かな自然と調和して、多くの観光客の皆様にご親しんで頂いております。

平成17年に津和野町と日原町が合併し、新たに津和野町としてスタートした本町も、本年で10周年を迎えることとなりました。合併により307km²



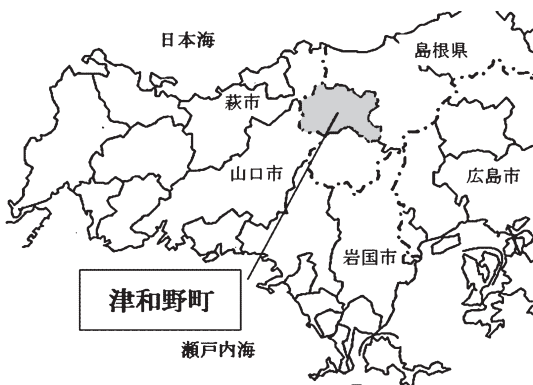
と面積は拡大する一方で、過疎化の進行はとまらず、現在では約8千人の人口ですが、「人と自然に育まれ温もりのある交流のまち」を目指して官民協働のまちづくりに取り組んでおります。

地形・地質的には、本町の90%を急峻な山林が占め、全域が特殊土壌地帯に指定されており、集中豪雨による土砂被害を受け易いと言われています。町内には、防災対策が必要な箇所として土石流危険渓流315箇所、急傾斜地崩壊危険箇所539箇所、合計で867箇所もの土砂災害危険箇所が存在しておりますが、整備率は20%（平成26年8月現在）に止まっております。

2. 豪雨の状況

平成25年7月22日から8月1日にかけて、日本海から東北地方にのびる梅雨前線と本州に沿って西から流れ込む暖かく湿った空気や上空の寒気の影響で、広い範囲で大気が不安定となり、九州から北海道にかけて局地的に非常に激しい雨が降りました。

この期間内の24時間降水量では、本町で7月28日午前3時から29日午前3時までの間に観測史上1位となる381.0mmを記録するとともに、山口、



* Hiroyuki Shitamori 島根県鹿足郡津和野町長

鳥取、福井、石川、山形県でも観測史上1位を更新した地点があり、全国的な豪雨となりました。

1時間雨量では、本町と隣接する山口県山口市で143.0mm、同じく萩市須佐で138.5mm、本町で91.5mmの猛烈な雨が降り、観測史上1位を更新しました。

3. 気象警報の状況

本町における記録を更新した猛烈な雨は、午前3時45分から降り始め、午前4時20分に大雨（浸水害）洪水警報が発表され、午前9時55分に「津和野町付近で約100ミリ」との記録的短時間大雨情報、そして午前11時18分に記録的な大雨に関する全般気象情報第1号（気象庁予報部）の発表と続きました。記録的な大雨に関する全般気象情報は、同年8月30日から運用が始まった「大雨特別警報」に相当する情報です。

4. 災害対策本部の状況

午前4時20分に大雨（浸水害）洪水警報が発表されたのを受け、第1次災害体制をとり、午前6時15分には第2次体制に移行し、午前6時50分に避難勧告を発令、そして午前7時7分には第3次体制に移行しました。この間、河川は水防団待機水位から氾濫危険水位までわずか約1時間程度で超過するなど、まさに「これまでに経験したことのない大雨」であることを思い知らされました。

緊迫した状況ながらも、災害対策本部では、情報収集や住民対応、防災ヘリや自衛隊の派遣要請、そしてマスコミへの情報提供など、様々な活動を行ったところであります。

5. 被害の状況

空が白み始めると共に住民等から被災を知らせる電話が鳴り始め、被害の状況が徐々に明らかになってまいりました。住宅の浸水、溪流からの土石流、裏山崩壊等の恐れも増したことから、避難所の開設と避難住民への対応を優先的にを行い、併せて、裏山崩壊箇所、車両通行できない生活道の応急対応、断水世帯への給水の対応等、各部署において様々な対応を行いました。



地すべり災害状況（津和野町名賀地内）



土石流災害状況（津和野町高峯内）



河川閉塞災害状況（津和野町名賀地内）

また、記録的豪雨のため、生活道である県道の崩土により1集落、県道の流失により3集落が孤立し、妊婦を含む孤立者の救助や被災状況の確認、生活物資の輸送等も必要となりました。

農地や公共施設等は、河川が氾濫し、冠水していることから、被害の状況が確認できず、翌29日に全庁体制で調査を実施いたしました。

最終的な被害等の状況としては、行方不明者1



上空からの災害状況（津和野町名賀地内）

名、重傷者1名、孤立集落4集落（217名）、避難勧告1,859世帯4,165名（うち避難者629名）。住宅被害としては、全壊2戸、床上浸水18棟、床下浸水93棟。ライフラインの関係では、断水1,859戸、停電130戸、携帯電話停波4局、NTT電話不通60回線、CATV電話不通63戸。施設災害としては、土石流57箇所、山腹崩壊19箇所、道路施設被害152箇所、河川施設被害121箇所、農地・農業用施設被害875箇所、林道施設被害40箇所。公共交通機関の被害としては、JR山口線（地福駅～津和野駅）において、3橋梁流失を含め61箇所で被災し、不通となりました。

このような状況を受けて、島根県は本町に対して災害救助法を適用するとともに国からは激甚災害として指定をされております。

6. 発生時における被災対応の状況

孤立集落における自力避難が困難な方は、島根県及び鳥取県防災、広島市消防ヘリコプターにより、救助していただくと共に自衛隊等による県道啓開作業により、避難路の確保が行われ、7月31日残った住民が徒歩で避難し、孤立が解消しました。

本町における情報の伝達はCATVを利用していましたが、孤立した名賀地区ではケーブルの断線と停電により、不可能となり、孤立住民に対して情報提供を行うため、臨時災害FM放送局の開設申請を28日に行い、29日から放送を開始しました。



河川閉塞災害状況（津和野町名賀地内）



名賀川はん濫状況（津和野町高峯地内）



名賀川はん濫及び県道への土砂流出状況
（津和野町名賀地内）

町内20箇所の避難所は順次閉所されていきましたが、名賀地区住民が収容された避難所については、住宅困窮者の町営住宅等への仮入居が完了した12日を最後に閉所いたしました。

国道は、7月28日午後7時、県道も29日に大部分の通行規制が解除され、8月9日には名賀地区を走る県道、12日町道の全線が通行可能となりました。



名賀川はん濫による JR 山口線被災状況
(津和野町名賀地内)

した。9日停電が復旧、12日断水が解消、14日最後まで残った電話（ケーブル電話）の不通が解消されました。

公共交通機関については、8月12日に全ての路線バスの運転が再開され、JR 山口線も翌26年8月23日に全線の運転が再開されました。

床上、床下浸水、土砂の流入被害を受けた住宅等については、7月31日に災害ボランティアセンターを設置し、8月16日までの間に1,300人余りの災害ボランティアを受け入れ、猛暑日が続く中、ボランティアの皆さんに家屋の掃除、家具の移動、ゴミだし、泥の撤去、避難所の運営支援等の支援活動を行っていただきました。

このほか公共土木施設の被災調査については、国土交通省 TEC-FORCE、農地・農業用施設、林道施設については、鳥根県の支援をいただきました。また、その後の査定設計、実施設計業務についても、農林水産省、鳥根県、県下4市3町、ささつな自治体協議会に加盟する5町1村（福島、栃木、埼玉、岐阜県）、交流都市の文京区等から職員の派遣をいただき、災害復旧業務を遂行しております。

7. 復旧の状況

県が管理する名賀川、津和野川については、被害が連続する区域において河川災害復旧助成事業（L=8.9km、47.4億円）により、4年間で改良復旧すると共に土石流が発生した溪流については、災

害関連緊急砂防事業3箇所、災害関連緊急治山事業14箇所ですべて防災施設を整備しております。

また、土石流が多く発生した名賀地区においては、住民への2次災害防止のために、土砂災害の危険を知らせる監視装置を設置する等の対応を取っていただきました。

その他災害復旧事業は、公共土木施設（道路、河川）のうち県管理施設111件、37.4億円（砂防事業を含み、助成事業を除く）、町管理施設112件、11.8億円、農地・農業用施設321件、9.0億円、林道施設15件、1億円となっております。本町の今年度末（平成27年3月31日）の発注状況は73%、完成予定が47%であり、新年度で概ねの工事を完成したいと考えております。

このほか土石流により土砂に埋まった民家や裏山が崩壊、若しくは危険のある民家については、早急な防災工事を行う必要があることから、家屋崩壊等の場合、解体・処分費上限100万円、裏山崩壊等の場合、撤去・法面整形費上限50万円で、補助率90～100%とする町独自の補助制度を設けました。その後4カ月間で、この補助制度を21人が利用され、被災集落や住民から大変喜ばれております。

8. おわりに

今回の災害を教訓として、防災行政無線の整備や集落間を結ぶ道路の複線化、管内測量設計業者との災害協定の締結等を行うと共に平時における行政関係者による災害対応訓練や住民による避難訓練等を行い、災害発生時に円滑な対応が出来る体制の構築を図らなくてはなりません。

最後になりますが、国・鳥根県をはじめ関係機関、災害ボランティアの方々等の多くのご支援により、現在までの災害対応ができており、あらためて感謝を申し上げます。

まだまだ本町には未対策の土石流危険溪流等が数多く残っており、住民の安全を確保する防災施設の整備は継続しての課題と認識しております。今後とも関係各位のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。